

Press Release

H  
A  
K  
U

## 新常識へ。 「HAKU 薬用 美白美容液ファンデ」誕生

シミの記憶をゼロ化へ。メラニンの生成を抑え、シミ・そばかすを防ぐ  
美白有効成分 4MSK<sup>※1</sup> 配合  
～2019年3月21日(木)発売～

資生堂は、14年連続美白美容液売上No.1<sup>※2</sup>の美白ブランド「HAKU」より、ファンデーション・美容液「HAKU 薬用 美白美容液ファンデ」(医薬部外品)〈販売名:HAKU メラノフォーカスF オークル 10 オークル 20 オークル 30 ピンクオークル 10〉【全1品目4品種 ノープリントプライス】を2019年3月21日(木)より発売します。

\*美白化粧品は、メラニンの生成を抑え、シミ・そばかすを防ぎます。

※1 4-メトキシサリチル酸カリウム塩

※2 インテージ SRI 美白美容液市場 2005年1月～2018年12月金額シェア (美白以外の機能を兼ね備える商品は除く)

- ◆「HAKU 薬用 美白美容液ファンデ」(医薬部外品)は、資生堂の100年を超える肌研究と、シミ予防研究による先端技術を搭載して生まれた「HAKU」ならではのファンデーション・美容液です。
- ◆日中特有の肌環境に着目。つけていることで、シミをカバーしながら美白する、日中の肌のための新しい美白美容液ファンデーション。資生堂が13年の歳月をかけて薬事開発した美白有効成分4MSK配合。シミの気にならない、明るく透明感のある肌へ。
- ◆「HAKU」は、シミ予防のための美白ブランドとして2005年に誕生。発売以来、14年連続美白美容液売上No.1のブランドです。「メラノフォーカス」シリーズの累計販売売上は1,545万本<sup>※3</sup>を突破し、多くのお客さまにご愛用いただいています。

※3 累計販売個数 2005年4月～2018年12月



### 【商品一覧】

全1品目4品種

商品名	分類	容量
HAKU 薬用 美白美容液ファンデ (医薬部外品)  販売名: HAKU メラノフォーカスF オークル 10 HAKU メラノフォーカスF オークル 20 HAKU メラノフォーカスF オークル 30 HAKU メラノフォーカスF ピンクオークル 10	薬用 ファンデーション・ 美容液	30g

※価格はノープリントプライスです。

### シミに対する意識とケア

女性のシミに対する意識を調査※4したところ、62%の方が「日中にシミが悪化すると思う」と回答しました。一方、朝・日中は美白ケアをあきらめ気味で、ファンデーションやコンシーラーで「守る、隠す」のみにとどまり、夜に、日中受けた紫外線ダメージの美白ケアをしていることがわかりました。

そこで「HAKU」は、資生堂の100年を超える肌研究と先端のシミ予防研究を活かし、新たな美白美容液ファンデを開発。日中特有の肌環境に着目し、「守る・隠す」しかないと思われている日中に美白ケアできるファンデーション・美容液を発売します。

※4 資生堂調べ 2018年4月 30代～50代女性 N=200

### 商品特長

「HAKU 薬用 美白美容液ファンデ」(医薬部外品)は、日中も本格的な美白ケアができる、「HAKU」ならではのファンデーション・美容液です。美白有効成分 4MSK※1、整肌・保護成分 Vカット複合体※5、ヒアルロン酸(保湿)※6を配合。日中つけていることで、シミをカバーしながら美白し、シミの気にならない、明るく透明感のある肌に仕上がります。シミや色ムラを目立たせない、ファインレッドパールを配合。肌になめらかに広がり、さらっと自然な仕上がりです。SPF30・PA+++で紫外線から肌を守ります。

※5 トルメンチラエキス、イチヤクソウエキス、グリセリン

※6 アセチル化ヒアルロン酸

### プロモーション・販売チャネル

モデルは、引き続き「木村文乃(きむら ふみの)さん」を起用します。2019年3月下旬よりTVCM・交通広告・WEBプロモーションを展開します。販売チャネルはドラッグストア・GMS・化粧品専門店など約17,000店です。あわせて、資生堂の総合美容サイト「ワタシプラス」でも販売します。

〈以下余白〉

【商品概要】

商品名・容量・価格	商品特長
<p>HAKU 薬用 美白美容液ファンデ (医薬部外品)</p> <p>販売名： HAKU メラノフォーカスF オークル 10 HAKU メラノフォーカスF オーク 20 HAKU メラノフォーカスF オークル 30 HAKU メラノフォーカスF ピンクオークル 10</p> <p>薬用 ファンデーション・美容液 30g SPF30・PA+++ オールシーズン ノープリントプライス</p> 	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>つけていることで、シミをカバーしながら美白する。</p> <p>シミの気にならない、明るく透明感のある肌へ。</p> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> <p><b>美白有効成分 4MSK<sup>※1</sup> 配合</b></p> <p><b>整肌・保護成分 Vカット複合体<sup>※5</sup> 配合</b></p> <p><b>Sヒアルロン酸<sup>※6</sup> 配合(保湿)</b></p> </div> <p>○シミができる肌に着目し、メラニンの生成を抑え、シミ・そばかすを防ぎます。</p> <p>○ファインレッドパールで、シミや色ムラを目立たせません。</p> <p>○なめらかに広がり、さらっと自然な仕上がりです。</p> <p>○無香料</p> <p>○アレルギーテスト済み・ニキビのもとになりにくい処方です。</p> <p>(全てのかたにアレルギーが起きない・ニキビができないというわけではありません。)</p> <p>※1 4-メトキシサリチル酸カリウム塩          ※5 トルメンチラエキス、イチヤクソウエキス、グリセリン          ※6 アセチル化ヒアルロン酸</p> <p>&lt;使用方法&gt;</p> <p>●スキンケアで肌を整えた後、指先にパール粒 1 コ分をとり、顔の 5 カ所(両ほお・額・鼻・あご)におき、顔全体になじませます。</p> <p>●紫外線の影響をうけやすいほおや、特にカバーしたい部分には、少量とり軽くぼかすようになじませます。</p>

■「HAKU」ブランドサイト <https://www.shiseido.co.jp/haku/>

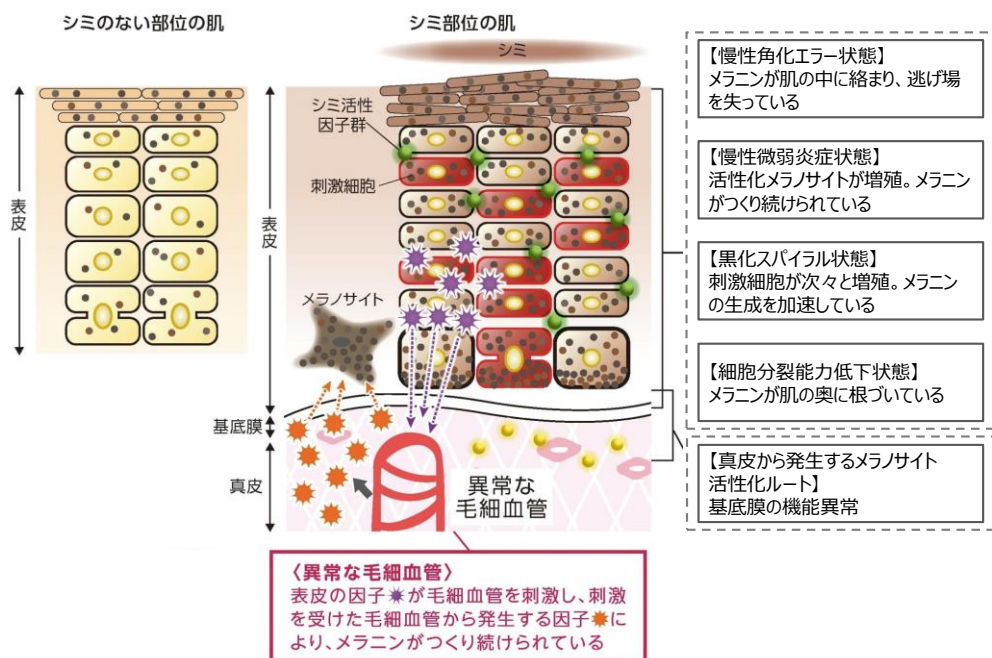
資生堂は、美しい肌に影響を及ぼす重要な要素のひとつとして「日中の肌メカニズム」に着目しました。シミ部位の慢性角化エラーに影響を及ぼし、メラニン排出をもたらす正常なターンオーバーに欠かせない因子(メラニン排出因子)が、日中に生み出されていることに注目。人がもともと持つ肌本来の力をサポートする、日中ならではの積極的なシミ予防の研究開発を進めました。

これまで資生堂が解明してきた、シミ部位特有の肌状態

これまで、シミを「メラニンの生成」という現象だけではなく「メラニンを含む肌全体のエラー」と捉え、シミ部位の肌で起こっている、正常な肌とは異なる皮膚生理について、長年、研究を進めてきました。

シミ部位の肌は内部でごくわずかな炎症が慢性的に起こり続け、それによりメラノサイトが常に活性化した状態でメラニンを生み出している「慢性微弱炎症状態」にあることを解明。幅広く肌への有効性を研究する中で、当時、肌あれ有効成分として知られていたトラネキサム酸に着目、美白有効成分 m-トラネキサム酸<sup>※1</sup>の薬事開発に成功しました。加えて、当時まだ化粧品の研究分野ではほとんど導入されていなかった遺伝子解析機器をいち早く導入し、シミ部位の肌で特異的に観察されるターンオーバー異常「慢性角化エラー状態」の要因を遺伝子レベルで解明。また、m-トラネキサム酸<sup>※1</sup>に続き、チロシンをスタートとするメラノサイト内で起こるメラニンの生成を抑制する美白有効成分 4MSK<sup>※2</sup>を13年の歳月をかけて薬事開発し、世に送り出しました。資生堂が薬事開発したこの2種の美白有効成分はそれぞれ異なるメラニン生成へのアプローチを持ち、メラニン生成の様々な段階に、様々な方法で働きかけます。さらに先進の研究にて、新たにシミと血管の関係に着目。異常な毛細血管ネットワークがシミ形成に関与することを発見しました。表皮の因子が毛細血管を刺激し、刺激を受けた毛細血管から発生する因子によりメラニンが作り続けられていることを見出しました。

資生堂は「メラニン生成への対応」ととどまらず、先端のシミ予防研究により、シミ部位の肌特有の状態とあらゆる方面からシミの原因を断ち切るアプローチを研究し、知見を見出してきました。



今回、日中ならではの肌状態の研究にあたり、メラニンの排出にかかわる、シミ部位の肌の異常の大きな要因である「慢性角化エラー」と「細胞分裂能力低下」にフォーカスしました。

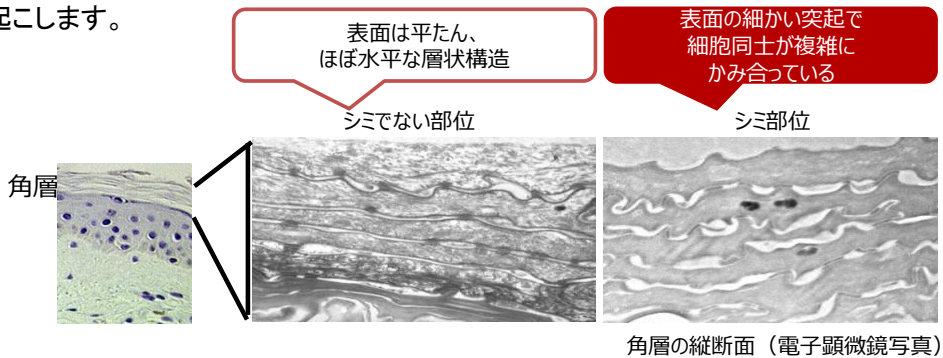
※1 トラネキサム酸

※2 4-メトキシサリチル酸カリウム塩

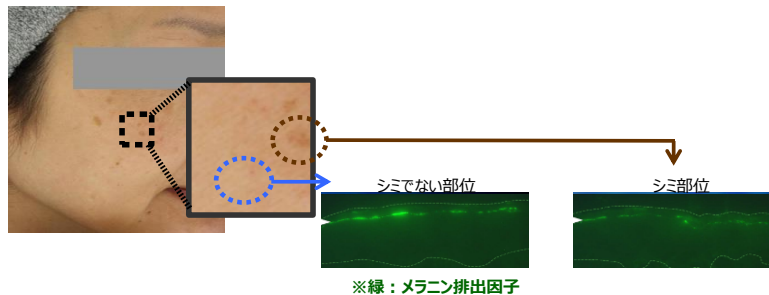
# シミ部位特有の肌状態

## ① 角層の重層化 ②メラニン排出因子の異常

① 角層の重層化:シミのない部位の肌は、細胞表面がほぼ水平な層状構造になっています。一方、シミ部位の肌は表面の細かい突起によって、細胞同士が複雑にかみあっており、角層がはがれにくく重層化します。また、メラニンを溜め込んだ角化細胞は細胞分裂能力低下状態となり、ターンオーバーを乱し、角層の重層化を引き起こします。



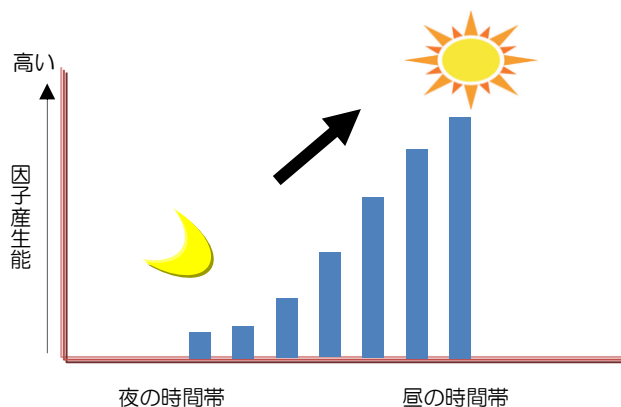
② ターンオーバーに必要な因子の異常:シミ部位の肌特有の状態として、正常なターンオーバーに必要な因子(メラニン排出因子)が少なくなっています。



# 日中に高まる肌の能力

## 肌が本来持つ力をサポート

資生堂は、正常なターンオーバーに必要な因子を作り出す能力は「日中の時間帯に特に高まる」ことを発見し、2012年にIFSCC(The International Federation of Societies of Cosmetic Chemists 国際化粧品技術者会連盟)にて発表しました。この肌が本来持つ力をサポートすることこそが、「守り」ではなく、日中ならでの積極的なシミ予防に重要なのです。



2012年 IFSCC \* (本大会) にて発表  
\* IFSCC: The International Federation of Societies of Cosmetic Chemists (国際化粧品技術者会連盟)

資生堂は、これまでシミ部位特有の様々な肌状態を解明してきました。これからも、長年の肌研究による先端の技術を活かし、美白研究開発を進めていきます。